

『夏の坂道』発刊記念シンポジウム

南原繁の青春と戦後改革

—著者とブック・トーク—

2019年 12月2日 13:00
|
16:45

参加費
1,000円

学士会館 202号室
(東京都千代田区神田錦町 3-28)
TEL: 03-3292-5936

開会 13:00

開会あいさつ 夏の坂道シンポジウム実行委員会 山口周三

第1部 講演及び対談 13:10-14:20

・『夏の坂道』の南原繁 村木 嵐

・対談 南原繁の青春・戦後改革・生き方 — 未来につなぐ —
宇野重規 (東京大学社会科学研究所教授) × 村木 嵐

休憩 14:20-14:40

第2部 パネル・ディスカッション 『夏の坂道』をめぐって 14:40-16:45

コーディネーター

南原繁研究会副代表 山口 周三

読後感① 事実とフィクションの間

南原繁研究会 榎木 憲一郎

読後感② 明治・大正の青春像—『夏の坂道』と司馬遼太郎

南原繁研究会 森 和博

読後感③ 南原繁が敬愛した友人三谷隆正・高木八尺 グルー・バンクロフト基金代表理事 松本 健

フロアとの質疑応答

宇野重規先生 まとめ

閉会挨拶 16:35

新渡戸・内村・南原・矢内原の時代の流れ 新渡戸稲造記念センター長・順天堂大学 名誉教授 樋野 興夫

閉会 16:45



主催：夏の坂道シンポジウム実行委員会

委員長 樋野興夫

委員 宇野重規、山口周三、森和博



『夏の坂道』シンポジウム開催の趣旨

『夏の坂道』は、作家村木嵐さんによる南原繁を主人公にした歴史小説（2019年3月刊行）であります。

南原繁は、学問と信仰により日中戦争に対峙し、終戦工作を行ない、戦後初の東京大学総長として、戦後教育改革を主導するとともに、国民の精神的指導者として、敗戦によって茫然自失状態にあった国民を励まし、国家再生の勇気を与えました。そのような大きな働きをした南原繁であります。今日国民には忘れ去られています。

本書では、南原繁の生涯が、歴史的背景の中で、新渡戸稲造、内村鑑三、小野塚喜平治、三谷隆正、高木八尺、矢内原忠雄、田中耕太郎、丸山眞男などと共に生き生きと復活しました。

『夏の坂道』シンポジウムは、第1部で、東京大学宇野重規教授と著者の村木嵐さんの対談のスタイルで、「南原繁の青春・戦後改革・生き方——未来につなぐ——」というテーマで論じて頂きます。

第2部のパネル・ディスカッションでは、南原繁研究会会員有志及びゲストによる読後感を述べて頂き、その後、村木嵐さんらに、パネリストやフロアからの質問に答えて頂くブック・トークの時間を持つこととしました。

平和と教育を最も大切な価値と考え、理念を高くかけ現実に向かった南原繁の思想・行動・生き方が、『夏の坂道』の出版を契機にして、さらに広く多くの人々に伝わることを期待して、このシンポジウムを企画しました。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

講師プロフィール

村木 嵐

1967年京都府生まれ。京都大学法学部卒業。会社勤務などを経て、司馬遼太郎家の家事手伝いとなる。司馬遼太郎氏の没後、夫人福田みどり氏の個人秘書を19年間務めた。2010年『マルガリータ』（文芸春秋社）で松本清張賞を受賞し、作家デビュー。その他の作品に『やまと錦』（光文社）など。

宇野重規

1967年東京都生まれ。東京大学社会科学研究所教授。専門は政治思想史、政治哲学。著書に『デモクラシーを生きる——トクヴィルにおける政治の再発見』（創文社）、『政治哲学的考察——リベラルとソーシャルの間』（岩波書店）、『未来をはじめる』（東京大学出版会）他多数。

申込方法

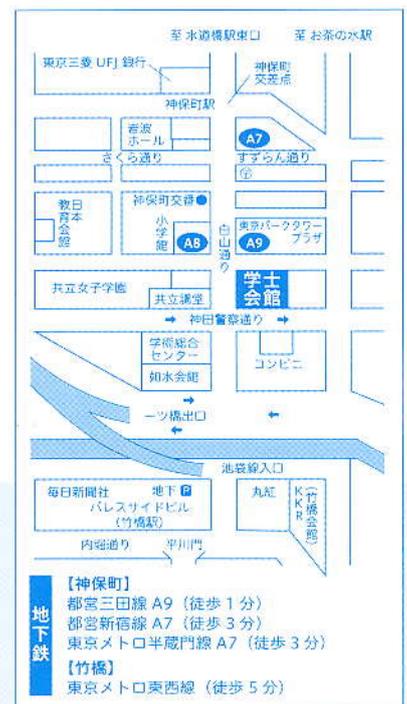
夏の坂道シンポジウム実行委員会の森 和博宛に申込み者の氏名、所属を記入のうえ、メールで申し込んで下さい。

森 和博 kazu-mori2@ab.auone-net.jp

事前の申し込みが無くても、席の余裕があれば、当日参加もできます。（先着、240名）

問い合わせ先

事務局：森 和博 kazu-mori2@ab.auone-net.jp 080-5687-1947



学士会館 202号室

(東京都千代田区神田錦町3-28)

TEL: 03-3292-5936